

JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第12回総会議事録
- ◇第31回運営委員会議事録
- ◇第32回（書面による）運営委員会議事録
- ◇第33回（書面による）運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿

◇日本惑星科学会第12回総会議事録

開催日時：1999年11月14日（日）16：30～17：15

開催場所：日本惑星科学会秋季講演会 会場
（東北大学 工学部 青葉記念会館）

出席者数：94名（内委任状28名）

1. 開会宣言

香内総務専門委員長より開会宣言があり、倉本会員を議長に、中村（昭）会員を書記に選んだ。

2. 議事

2.1 第5期上期（1999年度）収支の中間報告

渡邊財務専門委員長により、11月1日現在の収支中間報告が行われた。おおむね予算どおりに執行されている。支出のうち、管理費の事務局関連分は

事務分散化のために軽減しているものの、各専門委員の無償事務負担がその分増えているものと考えられるとのことであった。

第5期上期（1999年度）収支の中間報告 （財務専門委員会）

概要

11月1日現在の収支中間報告である。おおむね予算どおりに執行されている。収入の部では正会員（一般+学生）会費の納入率がやや悪いようなので、学会員のご協力をお願いしたい。支出の部では、学会誌印刷製本費と管理費（委託事務関連）が予算額をやや上回るペースとなっている。一方で管理費（事務局関連）は分散化のため軽減しているが、その分、各専門委員の事務負担は増えているものと考えられる。

第5期上期（1999年度）中間収支報告書（1999年1月1日～1999年11月1日）

I 収入の部

（単位：円）

科目	予算額	執行額	備考
会費収入	3,132,000	2,849,400	
一般会費収入	2,448,000	1,932,000	含海外会員
学生会費収入	492,000	284,000	
賛助会費収入	350,000	350,000	
滞納分納入	328,000	283,400	702,000円のうち
当期分未収会費	△486,000	—	

科目	予算額	執行額	備考
学会誌出版事業費収入	80,000	49,070	遊・星・人
講読料	80,000	49,070	個人・機関講読
広告料	0	0	
秋季講演会事業収入	340,000	0	東北大学
予稿集頒布収入	180,000	0	1500円/冊
参加費	160,000	0	1000円/人
雑収入	0	0	
寄付金収入	0	8,000	松本誠樹会員より
雑収入	151,000	218,939	
受取利息	1,000	1,189	
その他の収入	150,000	217,750	学情入力
当期収入合計 (A)	3,703,000	3,125,409	
前期繰越収支差額	866,678	866,678	
収入合計 (B)	4,569,678	3,992,087	

II 支出の部

(単位: 円)

科目	予算額	執行額	備考
学会誌出版事業費	1,954,000	1,421,880	遊・星・人
印刷製本費	1,700,000	1,320,900	4回分・表紙
送料運搬費	200,000	100,980	
保管料	19,000	0	保管:委託事務
事務委託費	35,000	0	手数料:委託事務
講演会事業費	704,000	175,800	
合同大会共催事業費	85,000	75,800	
送料運搬費	85,000	75,800	
秋季講演会事業費	519,000	0	東北大学
予稿集印刷費	170,000	0	
会場費	100,000	0	
送料運搬費	4,000	0	
消耗品費	30,000	0	
諸謝金	150,000	0	
雑費	65,000	0	ポスターパネル代
夏の学校補助金	100,000	100,000	
管理費(委託事務関連)	1,280,000	516,058	学会事務センター

科目	予算額	執行額	備考
業務委託費	950,000	399,000	
送料運搬費	250,000	104,560	
ニュースレター送料	150,000	41,680	
その他送料	100,000	62,880	会費請求
雑費	80,000	12,498	コピー・通信
管理費(事務局関連費)	192,000	36,939	
旅費交通費	0	0	学会受付者旅費
通信費	10,000	15,959	専用TEL・電報
送料運搬費	20,000	18,040	会誌著者分他
消耗品費	20,000	0	
印刷製本費	60,000	0	
諸謝金	60,000	0	
諸手数料	6,000	2,940	振込手数料
負担金	6,000	0	学協会サポート
雑費	10,000	0	
予備費	439,678	0	
当期支出合計 (C)	4,569,678	2,150,677	
当期収支差額 (A-C)	△866,678	974,732	
次期繰越収支差額 (B-C)	0	1,841,410	

2.2 第5期下期（2000年度）予算編成・執行方針

渡邊財務専門委員長により、一昨年・昨年同様、来年度予算ガイドライン案が示された。ガイドライン案は、従来の学会費額で算定してあるため支出を可能な限り縮減したものであるが、それでもなお、予備費が30,000円と学会は破産寸前である。そこで、次の議題として会費値上げを提案する、との説明があった。

2.1, 2.2 に関して、学会事務センター委託分の管理費の中味について質問があり、発送(会費振り込み用紙、会誌等)業務、学会あて郵便分配、電話への対応、名簿管理であること、の説明がなされた。

第5期下期予算ガイドライン案について、挙手による採決を行い、賛成94（内委任状28）の全会一致で承認された。

第5期下期（2000年度）予算編成・執行方針 (財務専門委員会)

概要

来年は、総会開催が6月末と今年よりさらに遅くなる予定のため、予算執行上問題が生じる。一方、現時点での詳細な予算案作成は不確定要素が多く困難である。そこで、一昨年・昨年同様、来年度予算ガイドラインを審議・承認いただきたい。なお、今総会で学会費値上げの審議と採決が行われる予定だが、以下のガイドラインは従来の学会費額で算定している。そのため、支出をなるべく縮減したが、それでもなお予備費 30,000円と破産寸前である。

第5期下期(2000年度) 予算ガイドライン(案)(2000年1月1日~12月31日)

I 収入の部

(単位: 円)

科目	予算額	前年度予算額	備考
会費収入	3,220,000	3,132,000	
学会誌出版事業収入	80,000	80,000	遊・星・人
秋季講演会事業収入	350,000	340,000	予稿集・参加費
寄付金収入	0	0	
雑収入	130,000	151,000	利息・学情入力
当期収入合計(A)	3,780,000	3,703,000	
前期繰越収支差額	430,000	866,678	
収入合計(B)	4,210,000	4,569,678	

II 支出の部

(単位: 円)

科目	予算額	前年度予算額	備考
学会誌出版事業費	2,000,000	1,954,000	遊・星・人
講演会事業費	700,000	704,000	春・秋
管理費(委託事務関連)	1,300,000	1,280,000	学会事務センター
管理費(事務局関連)	180,000	192,000	
予備費	30,000	439,678	
当期支出合計(C)	4,210,000	4,569,678	
当期収支差額(A-C)	△ 430,000	△ 866,678	
次期繰越収支差額(B-C)	0	0	

2.3 財政状況の逼迫に伴う学会費の値上げ

渡邊財務専門委員長により、来年度の学会費値上げの提案がなされた。値上げは、少なくとも学生会費の赤字分(1000円、前回議事録参照)を埋める程度は必要であり、他方、一般会員/学生会員の会員比率を現状に近い水準とすることが望ましい。一般会員は1,500円アップして7,500円、学生会員は1,000円アップして5,000円とすることで、年間70万円程度の収入増となる。このうち、40万円程度が現状での実質収支均衡に必要であり、残りの分で財政基盤の充実と運営の効率化のための構造改革を図っていく必要がある。値上げ後の

検討課題として、遊星人の誌面充実や学会WEBサーバーの立ち上げ等の会員サービス向上、一部委員の事務負担軽減のためのパートの雇用、が挙げられる

質疑・応答では、1) 他学会会費との比較、2) 会費の自動振り込みによる納入率の改善の可能性について質問があり、それぞれ、1) 電磁気学会・天文学会など(1万円を超える会費の学会)と比べて高くないとの回答、2) 管理費や初期投資が高いために納入率改善分が会計状態改善には直結しないとの見通しが述べられた。

挙手による採決を行い、賛成94(内委任状28)

の全会一致で承認された。

2.4 学会費値上げに伴う会則改正

香内総務専門委員長より会則改訂が提案され、挙手による採決を行い、賛成94（内委任状28）の全会一致で承認された。

現会則

第6条 正会員は会費6,000円を毎年前納しなければならない。学生会員は年額4,000円とする。
賛助会員は一口（50,000円）以上を毎年納めなければならない。既に納めた会費は
いかなる場合においても返付しない。

新会則（案）

第6条 正会員は会費7,500円を毎年前納しなければならない。学生会員は年額5,000円とする。
賛助会員は一口（50,000円）以上を毎年納めなければならない。既に納めた会費は

いかなる場合においても返付しない。

第18条 本会則は2000年1月1日から施行する。

3. その他

3.1. 2000年秋季講演会開催予定

香内総務委員長から、以下のアナウンスがあった。

場所：つくば

期日：10月中旬から11月中旬で調整中だが、ずれる可能性がある

：（大会長）下山 晃，（幹事）富樫茂子，加藤 工，春山純一，以上敬称略。

3.2 EPS への投稿呼びかけ

欧文誌専門委員会から、（総会翌日の）月曜から昨年発行の号以降をオンラインでテキスト公開をはじめることのアナウンスと、EPSへの惑星科学分野の投稿があまり多くないため投稿を求むとの呼びかけがあった。

◇第31回運営委員会議事録

日時：1999年11月13日（土） 18：00～20：00

場所：東北大学工学部青葉記念会館

出席：林，田近，向井，山本，村江，井田，福岡，
香内，倉本，渡邊，比屋根，中村，阿部，
中澤，大谷，増内，水谷

欠席（委任状あり）：

渡部，高木，土山，藤原，佐々木，並木

オブザーバー：春山

報告

1. 遊星人の発行状況

井田編集委員長から、「遊星人」の発行状況について、発行がやや遅れているがその他は順調であるとの報告があった。

2. 合同欧文誌について

比屋根委員より、合同欧文誌EPSは順調に発行されている旨の報告があった。文部省科学研究費の補助金により、第50巻はオンライン化がすみ、第51巻はオンライン化の準備中である。特集号を除いて惑星科学分野からの投稿が少ないので、一層の投稿をお願いしたい。

3. 関連学会学会長等懇談会

山本会長より、関連学会学会長懇談会が開催され、IUGG、合同大会などの現状と問題点に関する報告がなされた旨の報告があった。また、IUGGの組織委員会からプログラム委員の推薦依頼が各学会にきている旨の報告が阿部委員からあった。

4. 日本学術会議

中澤副会長より、地球物理学研究連絡委員会の議事に関して、次の報告があった。平成13年1月より、日本学術会議が改組され総務省所管になる予定であること、IUGGの準備状況。

5. 秋季講演会でのシンポジウム企画

林将来計画委員長から、1999年秋季学会講演会で開催を予定しているシンポジウム「日本惑星科学会に未来はあるか」の趣旨説明と準備状況についての報告があった。

議事

運営委員会の成立を確認後、議事に入った。

1. 入退会者について

香内総務委員長より、前回運営委員会以後の入退会者案が提案され、提案通り了承された。

2. 第5期上期中間報告

渡邊財務専門委員長より、第5期上期収支の中間報告があり、おおむね予算どおりに執行されている旨の報告があった（詳細は総会議事録参照）。

3. 第5期下期予算ガイドライン

渡邊財務専門委員長より、第5期下期の予算編成および執行方針についての説明があり（詳細は総会議事録参照）、ガイドライン案原案通り了承された。

4. 会費値上げ案

渡邊財務専門委員長より、学会費を値上げしたい旨の提案があり（詳細は総会議事録参照）、原案通り了承された。

5. 学会費値上げに伴う会則改正

香内総務専門委員長より学会費値上げに伴って、会則を改訂したい旨の提案があり（詳細は総会議事録参照）、原案通り了承された。

6. 2000年秋季学会講演会開催地について

香内総務専門委員長より、2000年秋季学会講演会をつくば地区で開催したい旨の説明があった。続いて、春山オブザーバーよりつくば地区での開催を引き受けたい旨、表明があり、了承された。

7. ESR応用研究会協賛

香内総務専門委員長より、標記研究会の協賛について提案があり、了承された。

8. 2001年の合同大会運営

田近学会連合等部会長などから、2001年の合同大会の抱える問題点が紹介され、引き続き、フリーディスカッションを行った。合同大会の理念は今後の地球惑星科学の発展を考えると非常に重要であるので、合同大会は今後とも是非継続すべきであり、学会としても協力を惜しまないことが合意された。

◇第32回（書面による）運営委員会議事録

日時：12月1日（水）～12月8日（水）

出席者：渡邊、香内、佐々木、倉本、田近、向井、土山、井田、中村、村江、山本、福岡、中澤、比屋根、林、並木、水谷、高木、

渡部（期間内に議決返信のあった者を出席者とみなした）

議題**1. 日本学術会議関係役員等選出のための選挙管理
委員会の設置**

第18期日本学術会議関係役員等選出のための選挙管理委員会を下記のように設置した。

委員長：香内 晃（北大・低温研）

委員：福岡孝昭（立正大・地球環境）

倉本 圭（北大・理）

林 祥介（北大・理）

渡部直樹（北大・低温研）

報告**1. 2000年の惑星科学会秋季大会日程**

標記大会の日程が下記のように決定した。

日程：2000年10月31日（火）～11月2日（木）

場所：つくば市工業技術院共用講堂

◇第33回（書面による）運営委員会議事録**日本惑星科学会第33回（書面による）運営委員会**

日時：平成12年1月18日（火）～1月24日（月）

出席者：渡邊，香内，佐々木，倉本，田近，向井，井田，中村，村江，山本福岡，中澤，比屋根，林，並木，水谷，高木，渡部，大谷，阿部（期間内に議決返信のあった者を出席者とみなした）

報告**1. 第18期日本学術会議関係役員選挙の結果**

香内選挙管理委員長より，第18期日本学術会議関係役員選挙の結果が下記のように報告された。

日本学術会議会員推薦人選挙

日本学術会議関係役員選挙規定により運営委員による会員推薦人選挙を行い，以下の2名が選出された。

会員推薦人 中澤 清

会員推薦人予備者 水谷 仁

日本学術会議会員候補者選挙

日本学術会議関係役員選挙規定により会員候補者選挙の推薦による立候補者を受け付けたが，立候補者がなかった。したがって，選挙管理委員会と

しては，次のステップ（選挙公報の作成，配布）に進むことはできない。今後の対応については運営委員会の判断を仰ぎたい。

議題**1. 日本学術会議会員候補者選挙についての今後の
対応（会長提案）**

第18期日本学術会議関係役員等選出のための選挙管理委員会を設置して会員候補者選挙を行ってきたが，推薦による立候補者がなかった旨の報告が香内選挙管理委員長からなされた。このような状況を想定した規定は日本学術会議関係役員選挙規定にはなく，今後の対応に関しては運営委員会の判断が必要である。日本学術会議関係役員選挙規定にしたがって再度選挙を行う時間的余裕はないので，今回は日本惑星科学会としては日本学術会議会員候補者の選出は行わない事を提案する。なお日本学術会議会員選挙にあたっては，会員推薦人として中澤 清副会長が選出されているので，本会の意向は十分に反映されると考えます。

以上の提案が会長からなされ，提案通り了承された。

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2000年3月25日までに、賛助会員として本学会に御協力下さった団体は以下の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します（五十音順）

宇宙開発事業団先端ミッション研究センター

カイカインスツルメンツ（株）

日本電気（株）宇宙開発事業部

（株）日立製作所宇宙技術推進本部

三菱プレジジョン（株）

（財）リモートセンシング技術センター